

第105回 北海道医学大会 プログラム

Program of the 105th Hokkaido Medical Congress

救 急 医 学 分 科 会

(第49回北海道救急医学会学術集会)

日 時：令和7年10月18日(土) 8:55~16:30

会 場：ホテルライフオーブ札幌

札幌市中央区南10条西1丁目1-30

TEL 011-521-5211

会 長：札幌医科大学医学部救急医学講座 教授 成松 英智

開催期間

総 会 令和7年10月4日(土)

分科会 自 令和7年8月30日(土)

至 令和7年11月22日(土)

会 頭 西 川 祐 司

主 催 旭 川 医 科 大 学
札 幌 医 科 大 学
北海道大学医学研究院
北 海 道 医 師 会

救 急 医 学 分 科 会

(第49回北海道救急医学会学術集会)

日 時：令和7年10月18日(土) 8:55～16:30

会 場：ホテルライフオート札幌

札幌市中央区南10条西1丁目1-30

TEL 011-521-5211

会 長：札幌医科大学医学部救急医学講座 教授 成松 英智

当番幹事

国立病院機構北海道医療センター

救命救急部長 碓 光司

副看護師長 斉藤 大介

薬剤師 神田 憲生

臨床工学技士 佐野 勇太

放射線技師 船山 恭祐

北海道救急医学会病院救急救命士部会

部会長 井沼 浩政

札幌市消防局

消防局長 坂上 新次

■特別講演・救急科領域講習①

「北海道の災害医療対応～教訓と備え～」

国立健康危機管理研究機構

危機管理・運営局DMAT事務局 次長 近藤 久禎

■教育講演・救急科領域講習②

「日本版敗血症ガイドライン2024～何が変わったのか、変わらなかったのか～」

札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 集中治療センター長 升田 好樹

■教育講演・専門医共通講習

「持続可能な救急医療の実現へ～私たちのための両立支援～」

札幌市手稲区保健福祉部／市立札幌病院総合研修センター 窪田 生美

-
1. 講演時間 1 題 7 分、質疑 2 分
 2. プロジェクター使用
 3. 発表形式 PCプレゼンテーション
-

第1会場（2階・ライフォートホールⅡ・Ⅲ）

当番幹事挨拶（8：55～9：00）

一般演題1 救急隊「救急活動」（9：00～10：00）座長 有馬 尉亮（札幌市消防局）

大泉 里奈（札幌医科大学医学部救急医学講座）

1. 鏡面像を考慮し判断した1例から現場12誘導の活用を考える
○垂又 修一，佐藤 貴晶，川村 渉太，新関光太郎（士別地方消防事務組合消防署和寒支署）
2. 胸痛傷病者が搬送中急変し、sign of lifeを呈した1例
○小出 謙二，齋藤 陸句（石狩北部地区消防事務組合当別消防署）
3. 救急隊判断で要請したドクターヘリとの連携により高度医療の早期提供につながった症例
○村本 授，高橋 学，上野 浩樹，下坂 燦太（とちろ広域消防局大樹消防署）
4. 国内8症例目ダニ媒介性脳炎について
○瀧山 純正（千歳市消防本部西出張所）
5. インスリン自己注射による自損行為で低血糖による意識障害を呈し、血糖補正後も再度血糖降下を起こした事例
○金崎 大智（石狩北部地区消防事務組合石狩消防署）
6. 頸椎・頸髄損傷事例の傾向分析～高齢者の自己転倒による頸椎損傷事例の経験から～
○高田 涼¹，沖崎 正篤¹，鈴木 貴翔¹，村山 幹太²（札幌市消防局中央消防署警防課幌西出張所¹，札幌市消防局中央消防署警防課²）

一般演題2 救急隊「調査・取組」（10：10～11：10）座長 森下 拓真（恵庭市消防本部）

加藤 史人（帯広厚生病院救急科）

7. エマージェンシーコール（119）から心拍再開までの時間と社会復帰の関係
○原 正浩（札幌市消防局警防部救急課）
8. 本邦の救急隊員のワークエンゲイジメントに影響を及ぼす要因
○春名 純平^{1,2}，大西 昌亮³，上村 修二^{2,4}，田口裕紀子^{2,4,5}（札幌医科大学附属病院ICU¹，札幌医科大学医学部北海道病院前・災害・航空医学講座²，札幌市消防局³，札幌医科大学医学部救急医学講座⁴，札幌医科大学保健医療学部⁵）
9. 偶発性低体温患者の長期的転帰の影響～ウツタイン様式が明らかにする救急隊の役割～
○小野寺政幸，原 正浩（札幌市消防局警防部救急課）
10. 病院前新生児蘇生法講習会で救急隊員のニーズを反映した指導内容の検証
○由利 伸也（市立函館病院看護部3階東病棟）
11. 日高中部消防組合消防本部における転院搬送の現状と課題
○村中 紀充（日高中部消防組合消防署）
12. 超高齢社会2025を見据えた地域医療構想の現在～消防救急×地域包括ケアシステムの構築と活用～
○藤木 亜純，木村 達也，坂下 直樹，金子 祐人，河津 宏希，石田 剛大，小野寺秀誠（函館市消防本部）

一般演題3 Off-JT（11：20～11：50）

座長 佐藤 寛起（旭川医科大学医学部救急医学講座）

13. 臨床推論と実践力を磨く：AMLS・PHTLSが拓く救急医療の未来
○菅 直樹（JSISH-NAEMT Training Site）
14. SEMT（救急活動シミュレーション学習）の紹介
○山本健二郎（JSISH日本医療教授システム学会）

15. 妊産婦救急の対応力を高める教育プログラム「Basic Life Support in Obstetrics (BLSO)」の紹介

○永井 雄平¹, 松宮 寛子^{1,2}, 齊藤 良玄^{1,2} (北海道周生期医療救急支援の会¹, 北海道大学産婦人科学教室²)

ランチョンセミナー (12:00~12:50)

座長 碓 光司 (国立病院機構北海道医療センター救命救急センター)

特別講演・救急科領域講習① (13:00~14:00)

座長 豊原 隆 (市立釧路総合病院救命救急センター)

「北海道の災害医療対応～教訓と備え～」

演者 国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局 次長 近藤 久禎

一般演題 4 病院前救急 (14:10~14:50)

座長 小館 旭 (市立札幌病院救命救急センター)

16. 道南ドクターヘリ10年間の運航実績と課題

○武山 佳洋, 國部峻太郎, 堀尾 康裕, 能戸麻莉奈, 青柳 有沙, 坂脇 英志, 坂脇 園子 (市立函館病院救命救急センター)

17. アドレナリン投与を優先したことでの救急隊活動の変化と予後の関連

○沢本 圭悟¹, 上村 修二^{1,2}, 大泉 里奈¹, 東條隆太郎¹, 野中 樹¹, 相坂和貴子¹, 葛西 毅彦¹, 文屋 尚史¹, 水野 浩利^{1,2}, 成松 英智^{1,2} (札幌医科大学医学部救急医学講座¹, 札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座²)

18. 脳卒中早期治療を目指したStrokeCarの運用

○高橋 明, 白崎 修一, 堺 一郎, 米増 保之, 千葉 遼平, 澤田 圭子, 温泉 和広, 河部 啓二, 中村義富美 (札幌美しが丘脳神経外科病院)

19. 北海道における広域施設間搬送の現状と課題

○谷口 圭祐^{1,2}, 水野 浩利², 和田宗一郎³, 荻原 重俊³ (北海道防災航空隊¹, 札幌医科大学医学部救急医学講座², 手稲溪仁会病院こども救命センター³)

教育講演・専門医共通講習 (15:00~16:00)

座長 水柿明日美 (北海道大学病院救命救急センター)

「持続可能な救急医療の実現へ～私たちのための両立支援～」

演者 札幌市手稲区保健福祉部／市立札幌病院総合研修センター 窪田 生美

優秀演題発表 (16:15~16:25)

閉会 (16:25~16:30)

第2会場 (2階・ライフォートホールⅠ)

一般演題 5 研修医 (9:00~9:40)

座長 岡本 憲幸 (手稲溪仁会病院救急科)

20. 神経学的予後良好であったアルコール性ケトアシドーシスによる心停止の1例

○肥田 太陽¹, 俵 敏弘², 奈良 理² (手稲溪仁会病院初期臨床研修部¹, 手稲溪仁会病院救命救急センター²)

21. 当院は閉塞性腎盂腎炎治療のハブアンドスポーク的役割を果たしている

○佐藤 大介¹, 林 浩三², 曳田 彩子², 片岡 秀真², 鈴木 悠介², 田口 大² (勤医協中央病院¹, 勤医協中央病院救急科²)

22. 耳鼻科のない2次救急医療施設での鼻出血処置は如何にあるべきか

○泉 信輔, 田口 大, 林 浩三, 曳田 彩子, 鈴木 悠介, 片岡 秀真 (勤医協中央病院)

23. 片側性肺浸潤影をきたし重症肺炎との鑑別に難渋した急性僧帽弁閉鎖不全症の1例

○森 太一¹, 曳田 彩子², 鈴木 悠介², 林 浩三², 田口 大² (勤医協中央病院¹, 勤医協中央病院救急科²)

教育講演・救急科領域講習② (9:50~10:50) 座長 佐藤 智洋 (国立病院機構北海道医療センター救命救急センター)

「日本版敗血症ガイドライン2024~何が変わったのか、変わらなかったのか~」

演者 札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 集中治療センター長 升田 好樹

薬剤師部会ミニレクチャー (11:00~12:00) 座長 方波見謙一 (北海道大学大学院医学研究院侵襲制御医学分野救急医学教室)

「急性薬物中毒における救急隊・薬剤師のマインド~何を考えてアプローチするか?~」

演者 札幌市消防局東消防署 砂原 一仁
札幌東徳洲会病院薬剤部 齋藤 靖弘

シンポジウム (13:00~14:00) 座長 平賀 友章 (旭川厚生病院医療技術部臨床工学技術科)
佐藤 貴彦 (旭川医科大学病院診療技術部臨床工学技術部門)

「災害に備える~臨床工学技士と災害~」

S-1. 臨床工学技士として千島海溝沖地震に備える

○村谷 拓 (清水赤十字病院医療技術部)

S-2. JHATとは何か? その目的と背景

○成田 孝行 (旭川医科大学病院診療技術部臨床工学技術部門)

S-3. 北海道胆振東部地震の対応から今後の災害に備える

○岸本万寿実 (札幌医科大学附属病院臨床工学部)

S-4. 備える時は“いつか”じゃない~災害派遣経験から~

○菅原 誠一 (手稲溪仁会病院臨床工学部)

共催セミナー (14:10~15:10) 座長 田口 大 (勤医協中央病院救急科)
演者 埼玉医科大学病院臨床中毒センター 喜屋武玲子

特別企画 (15:20~16:00) 座長 丹保亜希仁 (旭川医科大学医学部救急医学講座)

SP-1. 「AIは“そばにある道具”へ~医療者が知っておくべきChatGPT実践法とこれから~」

○平山 傑 (札幌徳洲会病院)

第3会場 (4階アニマート I・II)

一般演題6 看護師① (9:00~9:40) 座長 古賀 啓太 (砂川市立病院救急外来)

24. モニターアラームコントロールチーム結成から3年目を迎えて

○小原 環, 水町 貴論, 原田 祐輔, 上西こずえ (斗南病院)

25. 当院の早期経管栄養プロトコル作成の現状

○藤岡 純¹, 村田 明子², 金谷 貴洋³ (国立病院機構北海道医療センター統括診療部¹, 国立病院機構北海道医療センター栄養科², 標茶町保健福祉センター健康推進課³)

26. 蘇生後脳症になった腎移植レシipientに対して多職種で方針決定を重ねた1例

○杉原 美樹¹, 葛西 毅彦¹, 井上 弘行³, 岩元 悠輔¹, 文屋 尚史¹, 沢本 圭悟¹, 田中 俊明², 成松 英智¹ (札幌医科大学附属病院高度救命救急センター¹, 札幌医科大学附属病院泌尿器科², 札幌市医師会夜間急病センター³)

27. 救急外来における電話相談での助言が相談者の行動に繋がらなかった症例

○一宮なぎさ¹, 町中果実子¹, 杉原由希子¹, 葛西 陽子² (手稲溪仁会病院救命救急センター¹, 手稲溪仁会病院看護管理室²)

一般演題7 看護師② (9:50~10:30)

座長 滝口ちあき (名寄市立総合病院)

28. 安全に肺泡リクルートメントを実施するための取り組み

○成田もも花, 関村 萌子, 新津 宥太, 上田 顕世, 関谷 紗季, 岩佐 幸一 (北海道大学病院看護部救命救急ナースセンター)

29. 休日開催の院内BLSコースを業務時間内に移行導入した試み

○須藤 泰佑^{1,2}, 保原 璃^{1,2}, 永川 陽子^{1,2}, 井下田 恵^{1,2}, 山崎 直美^{1,2}, 武山 佳洋^{1,3} (市立函館病院ICLS部会¹, 市立函館病院看護部², 市立函館病院救命救急センター³)

30. 災害時に病棟で有効活用できるCSCA確立を目的とした「初動ファイル」導入の検証

○尾崎 美聡, 塩谷 信喜, 裕 光司 (国立病院機構北海道医療センター)

31. 救急看護師が抱く乳幼児の点滴・採血に関する親の同席を困難とする要因について

○西野 貴裕, 岩倉 由幸, 杉原由希子 (手稲溪仁会病院救命救急センター)

一般演題8 混合セッション (10:40~11:50)

座長 高橋 正樹 (北海道大学病院救命救急センター)

32. 医療者1人でできる、生成AI活用音声入力支援～救急現場発の記録業務改善と現場主体DXの提案～

○平山 傑^{1,2} (札幌徳洲会病院¹, Wonder Drill株式会社²)

33. 当センターにおける患者満足度向上と収支差改善に向けた改革と効果

○井上 弘行, 僧都 ひさ, 附田 卓哉, 宮部 喜仁, 木下 学 (札幌市医師会夜間急病センター)

34. 函館市における小児夜間救急機能の再編とその成果

○笹岡 悠太¹, 酒井 好幸¹, 武山 佳洋² (市立函館病院小児科¹, 市立函館病院救命救急センター²)

35. 重症外傷を契機としたPersistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome (PIICS)の1例

○藤代 大介, 三上 直起, 竹田 純鈴, 田中あかり, 大武 志帆, 佐藤 研斗, 松村 美和, 千葉 凌, 滝口 僚也, 難波 亮, 佐藤 寛起, 川口 哲, 中嶋 駿介, 丹保垂希仁, 小北 直宏, 岡田 基 (旭川医科大学病院救命救急センター)

36. 2次救急医療施設での救急科研修の成果と課題

○田口 大, 林 浩三, 曳田 彩子, 鈴木 悠介, 片岡 秀真 (勤医協中央病院救急科)

37. 救急患者連携搬送料の活用と対象疾患の妥当性検討～救急科経由入院データをを用いた分析から～

○木村 忠司, 河瀬 亨哉, 武山 佳洋, 小松 学 (市立函館病院救命救急センター)

38. 病院新築移転における急性期脳卒中診療の画像検査効率化への取り組み

○鈴木 淳平 (札幌柏葉会病院放射線科)

一般演題9 病院救急救命士① (12:50~13:40)

座長 坂 佳代子 (北海道大学病院医療技術部臨床工学・救急救命部門)

39. Notionを活用した転院搬送業務のDX化と変化

○上村 涼, 道上 将稀, 寺倉 佳苗, 細田 拓海, 安井勘太郎, 平山 傑 (札幌徳洲会病院救急センター)

40. テストコースでの交通事故を想定した合同訓練への参加報告

○大滝 達也, 丹保垂希仁, 岡田 基 (旭川医科大学病院救命救急センター)

41. 病院救急救命士が転院調整を成功させるためのセブンルール

○川端 崇太, 田口 大, 藤川丈一郎, 佐々木優斗, 熊谷 将俊, 水越 祐弥 (勤医協中央病院救急救科)

42. 院内救急救命士による医師のタスクシフトの現状と課題

○田畑 慶多¹, 坂 佳代子¹, 西村 友宏¹, 青木 達哉¹, 中野 匠¹, 武田 悠太¹, 太田 稔¹, 方波見謙一², 高氏 修平², 和田 剛志² (北海道大学病院医療技術部臨床工学救急救命部門¹, 北海道大学病院救急救科²)

43. ホットラインと救急医療システムについて

○森 裕記¹, 井沼 浩政¹, 上田あずさ¹, 吉田 将馬¹, 山崎 藍¹, 浅井 美輝¹, 宮下 昂大¹, 佐藤 隆希¹, 畑野 匠杜¹, 山岸 侑生¹, 楠 雄宇輔¹, 高橋 綾汰¹, 森本 奏大¹, 佐藤 秀平¹, 檜山 貴大¹, 高橋 伶奈¹, 松崎 創¹, 丸藤 哲² (札幌東徳洲会病院救急救センター¹, 札幌東徳洲会病院救急救集中治療センター²)

一般演題10 病院救急救命士② (13:50~14:40) 座長 加藤 敦 (札幌心臓血管クリニック診療技術部救急救命士科)

44. 自宅での看取りを希望した終末期患者を病院から自宅へ緊急搬送した経験

○藤川丈一郎, 田口 大, 川端 崇太, 熊谷 将俊, 佐々木優斗, 水越 祐弥 (勤医協中央病院救急救科)

45. 脳出血を併発していた急性アルコール中毒事例

○水越 祐弥, 田口 大, 川端 崇太, 藤川丈一郎, 佐々木優斗, 熊谷 将俊 (勤医協中央病院救急救科)

46. 北海道救急救命士会の設立と北海道救急医学会病院救急救命士部会の立ち上げについて

○井沼 浩政¹, 坂 佳代子³, 加藤 敦², 佐々木優太⁴, 川端 崇太⁵ (札幌東徳洲会病院救急救センター¹, 医療法人札幌ハートセンター札幌心臓血管クリニック², 北海道大学病院医療技術部/臨床工学・救急救命部門救命救急救センター³, 札幌心臓病センター⁴, 勤医協中央病院救急救科⁵)

47. 病院救急救命士による医師のタスクシフト(読影業務サポート)とその結果について

○高橋 綾汰¹, 井沼 浩政¹, 上田あずさ¹, 吉田 将馬¹, 山崎 藍¹, 浅井 美輝¹, 宮下 昂大¹, 佐藤 隆希¹, 畑野 匠杜¹, 山岸 侑生¹, 森 裕記¹, 楠 雄宇輔¹, 森本 奏大¹, 佐藤 秀平¹, 檜山 貴大¹, 高橋 伶奈¹, 松崎 創¹, 丸藤 哲² (札幌東徳洲会病院救急救センター¹, 札幌東徳洲会病院救急救集中治療センター²)

48. 院内救急救命士による転院搬送の実態と有用性について

○宮下 昂大¹, 井沼 浩政¹, 丸藤 哲², 上田あずさ¹, 吉田 将馬¹, 山崎 藍¹, 浅井 美輝¹, 佐藤 隆希¹, 畑野 匠杜¹, 山岸 侑生¹, 森 裕記¹, 楠 雄宇輔¹, 高橋 綾汰¹, 森本 奏大¹, 佐藤 秀平¹, 檜山 貴大¹, 高橋 伶奈¹, 松崎 創¹ (札幌東徳洲会病院救急救センター¹, 札幌東徳洲会病院救急救集中治療センター²)

一般演題11 専攻医 (14:50~16:00) 座長 松田 律史 (札幌東徳洲会病院救急救センター)

49. 遷延する呼吸不全を契機に甲状腺粘液水腫と診断された1例

○上島優太郎, 和田 剛志, 吉田 知由, 高氏 修平, 前川 邦彦, 方波見謙一, 斎藤 智誉, 早水真理子, 水柿明日実, 本間 慶憲, 高橋 正樹, 高橋 悠希, 土田 拓見, 村下 百音 (北海道大学病院救急救科)

50. 外傷性腰動脈引き抜き損傷に合併した腎静脈損傷に対し、バルーンカテーテルを用いた止血戦略を併用した1例

○原 大希, 高氏 修平, 前川 邦彦, 方波見謙一, 吉田 知由, 斎藤 智誉, 和田 剛志 (北海道大学病院救命救急救センター)

51. 良好な転帰を辿った腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）後の大動脈十二指腸瘻の1例
○安藤 玲¹, 青柳 有沙¹, 大野 政汰¹, 神川 朝妃¹, 橘 沙弥音¹, 小林 郁矢¹, 堀尾 康裕¹,
國部竣太郎¹, 能戸麻莉奈¹, 坂脇 英志¹, 坂脇 園子¹, 武山 佳洋¹, 古屋 敦宏²（市立函館病院救命救急センター¹, 市立函館病院心臓血管外科²）
52. 中枢気道閉塞を伴う気管内腫瘍に対しVV-ECMO下で腫瘍減量術を施行した1例
○永本 郁宏, 加藤 史人, 鳥本 有里, 和田健志郎, 加藤 航平（帯広厚生病院救急科）
53. 自殺目的に摂取した10本の針のうち小腸に進行した4本が自然排泄された1例
○横田 英里, 棟方 裕貴, 土田 拓見, 水柿明日美, 高氏 修平, 早水真理子, 斉藤 智誉, 吉田 知由,
方波見謙一, 前川 邦彦, 和田 剛志（北海道大学病院救命救急センター）
54. 高速自動車国道における多数傷病者事故
○千葉 凌, 丹保亜希仁, 田中あかり, 佐藤 研斗, 佐藤 寛起, 岡田 基（旭川医科大学病院救急科）
55. フレイルチェストをきたした高齢患者に対して、体外式人工呼吸器が奏功した1例
○久保田雄策, 岩元 悠輔, 大泉 里奈, 葛西 毅彦, 沢本 圭悟, 文屋 尚史, 成松 英智（札幌医科大学医学部救急医学講座）